ボーリング柱状図

調　査　名　平成30年度上市地区　測量設計地質調査業務委託（急傾斜地崩壊対策・公共）

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県庄原市総領町稲草			北緯	34° 47’ 01.1514″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	令和 2年 1月 8日 ～ 2年 1月 9日	東経	133° 3’ 57.6529″
調査業者名		管理技術者		照査技術者	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	281.39m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 44°
総掘進長	7.00m	使用機種		試錐機	軽量ボーリングマシン	ハンマー落下用具	半自動落下
				エンジン	100Vモーター	ポンプ	動噴

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	281.39	0.10	0.10							
	280.94	0.35	0.45		表土	黒褐			植物根、有機物を多く含む腐植土である。	
					礫質土	褐			礫主体である。有機質土を含む。	
1										
2					粘土質砂礫	明褐～褐白			全体に軟質部分、粘土質砂礫で構成される。指圧貫入は可能である。 ・GL.-2.50～2.70m、石英質安山岩角礫が集中している。 ・GL.-2.70～3.00m、凝灰質、軟、指圧貫入容易。 ・GL.-3.39～4.00m、礫状コア、マトリクス流失。	
3										
4	276.89	4.05	4.50							
5					火砕岩	暗灰、暗褐			硬軟互層、軟質部は指圧貫入困難、全体に安山岩礫含む。 ・GL.-6.29m以深、石英質安山岩礫主体となる。	1/9 5.83
6										
7	274.39	2.50	7.00							

標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	3	9	15／30	15
1.45					
2.15	3	4	8	15／30	15
2.45					
3.15	12	16	22／4	50／24	63
3.39					
4.15	5	6	5	16／30	16
4.45					
5.15	10	9	15	34／30	34
5.45					
6.15	12	38／4		50／14	107
6.29					
7.15	11	8	10	29／30	29
7.45					

N値 0 10 20 30 40 50 60

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
				1/8
				1/9